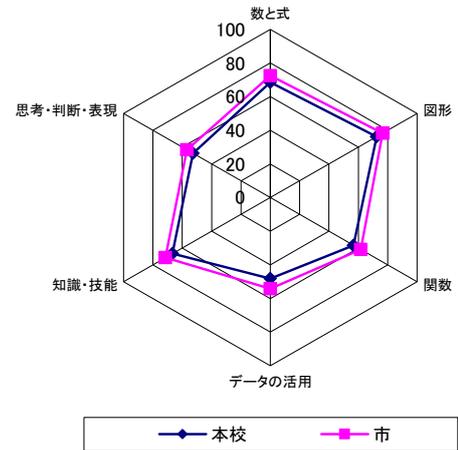


# 宇都宮市立陽南中学校 第3学年【数学】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

|     |          | 本年度  |      |      |
|-----|----------|------|------|------|
|     |          | 本校   | 市    | 参考値  |
| 領域別 | 数と式      | 68.5 | 72.5 | 71.3 |
|     | 図形       | 72.5 | 76.5 | 68.1 |
|     | 関数       | 56.7 | 61.7 | 50.3 |
|     | データの活用   | 48.2 | 54.2 | 43.5 |
| 観点別 | 知識・技能    | 66.7 | 71.5 | 66.7 |
|     | 思考・判断・表現 | 52.6 | 56.9 | 45.8 |
|     |          |      |      |      |

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

| 領域     | 本年度の状況  | 今後の指導の重点   |
|--------|---|--|
| 数と式    | <p>○<math>(x+a)(x+b)</math>の公式を使った展開の問題では、市の平均より0.9ポイント高い。</p> <p>○負の数の減法や、多項式の計算問題では、正答率が80%を上回っている。</p> <p>●正負の数を利用した仮平均について説明する問題では、市の平均より12.8ポイント低い。</p>                          | <p>・基本的な計算問題や公式を使った問題を繰り返し復習することを継続していくとともに、苦手意識がある生徒にはタブレット学習を活用するなど個の定着度に応じた指導の充実を図る。</p> <p>・数学的な事象を説明する問題場面では、その数が何を表す数なのかについて丁寧に扱い、数についての理解が深まるよう指導する。</p>  |
| 図形     | <p>○図形に関する問題は、他の領域と比べて正答率が高い。</p> <p>○図形の角度を求める問題や、三角形を対称移動させたときの対応する点を選ぶ問題では、正答率が80%を上回っている。</p> <p>●作図の問題では、市の平均より5.7ポイント低い。</p> <p>●多角形の内角の和の性質に関する問題では、市の平均より5.5ポイント低い。</p>       | <p>・図形に関する基礎知識や定理を丁寧に復習し、作図などの基礎問題を繰り返し演習することで、基礎基本が定着するよう指導する。</p> <p>・問題場面から図形の特徴を捉える場面では、どのような定理が使えるのかを考えさせる発問をし、話し合い活動などを通して理解が深まるよう授業展開を工夫する。</p> <p>・証明問題などの活用問題では、解答となる部分から遡って必要事項を検討し、筋道を立てて考えるよう指導する。</p> |
| 関数     | <p>○身近な問題場面で、1次関数を活用し値を求める問題では、正答率が77%を上回っている。</p> <p>●1次関数の関係を表す表から、正しいグラフを選ぶ問題では、市の平均より9.1ポイント低い。</p> <p>●反比例の式から、<math>x</math>と<math>y</math>の関係を表した表を選ぶ問題では、市の平均より8.2ポイント低い。</p> | <p>・反比例や1次関数において、式から表やグラフを表現する活動を繰り返し行い、2つの数量関係からできる式、表、グラフが相互に関連していることについて理解が深まるよう指導する。</p> <p>・興味関心が高まるような身近な問題から、関数の値の変化の仕方や特徴を捉え、言葉で説明するなど、授業展開を工夫する。</p>  |
| データの活用 | <p>○確率を求める問題では、正答率が80%を上回っている。</p> <p>●ヒストグラムから、中央値を読み取り、ふくまれる階級の階級値を選ぶ問題では、市の平均より8.6ポイント低い。</p>  | <p>・図や具体的なデータの例を用いながら、度数分布表やヒストグラムなど、基本的なデータに関する知識を身に付けられるよう丁寧に指導する。</p> <p>・興味関心が高まるような身近な問題から、データを読み取る活動に取り組み、データを活用する力を高めるよう指導する。</p>   |
|        |   |  |
|        |   |  |